

石川県のクマ対策について

石川県生活環境部自然環境課

1 計画的な保護と管理

(1) 経緯

平成11年 鳥獣保護法改正

野生鳥獣の科学的・計画的な保護管理を実施するため特定鳥獣保護管理計画制度が創設

平成14年3月 「石川県特定鳥獣保護管理計画」策定(H14年度～H18年度)

保護管理区域:津幡町以南の旧12市町

平成16年秋 金沢市以南の人里で大量出沒(市街地にも出沒)

平成17年度 「石川県ツキノワグマ出沒対応マニュアル」策定

平成19年3月 「第2期石川県特定鳥獣保護管理計画」策定(H19年度～H23年度)

保護管理区域:七尾市以南に拡大

平成23年3月 「第2期石川県特定鳥獣保護管理計画」延長(～H25年度)

平成25年3月 「第3期石川県特定鳥獣保護管理計画」策定(H25年度～H26年度)

保護管理区域:県内全域に拡大

平成26年5月 鳥獣保護法改正(平成27年5月施行)

保護と管理が明確に区分

平成27年5月 「第1期石川県ツキノワグマ管理計画」策定

(2) 第1期ツキノワグマ管理計画(H27.5~H30.3)

① 計画策定の背景、目的

【背景】県内では、人身事故や林木被害、大量出没が発生

【目的】①広域保護管理指針に基づく、地域個体群の適正に維持

②人身被害等の防止

② 計画期間

平成27年5月29日～平成30年3月31日

③ 管理区域

県全域(19市町)

④ 管理目標

白山・奥美濃地域ツキノワグマ個体群の長期にわたる安定的な維持

人身被害等の防止

⑤ 管理指針

ア 個体数調整

【方 策】①良好な生息地の環境の維持

②適正な捕獲数管理による個体群の維持

【捕獲等】狩猟と個体数調整による年間捕獲数の総計を推定生息頭数の12%以内とする。

（推定生息頭数700～900頭(H23,24調査)の中間値である
800頭を基準値）

イ 管理のための地域区分

地域区分は保護地域、緩衝地域、排除地域の3地域とする。

【保護地域】白山、大日山、鈴ヶ岳鳥獣保護区を野生動物の生息地として、
厳正に保護

→ 個体数調整捕獲は実施しない

【緩衝地域】保護地域及び排除地域を除いた地域で、農地集落地に近い部分は里山林等の整備により被害抑制

→ 狩猟、個体数調整捕獲を推進

【排除地域】市街地、里山集落、農地及び被害の発生している植林地や
邑知低地帯以北(全域)では排除に努め、円滑な人間活動確保

→ 被害防除及び個体数調整捕獲を中心に実施、

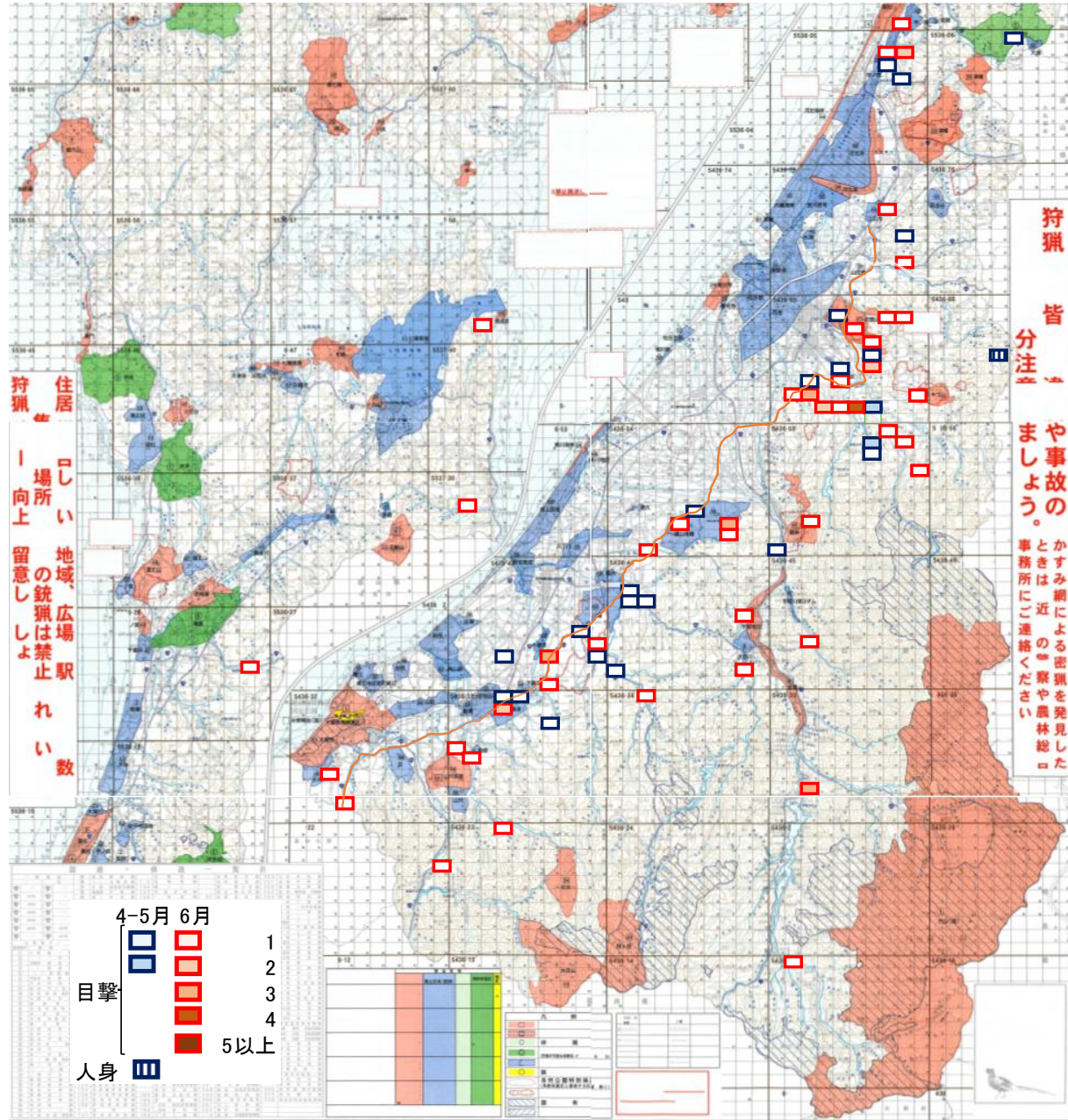
ツキノワグマの目撃状況等

～平成29年6月30日現在～

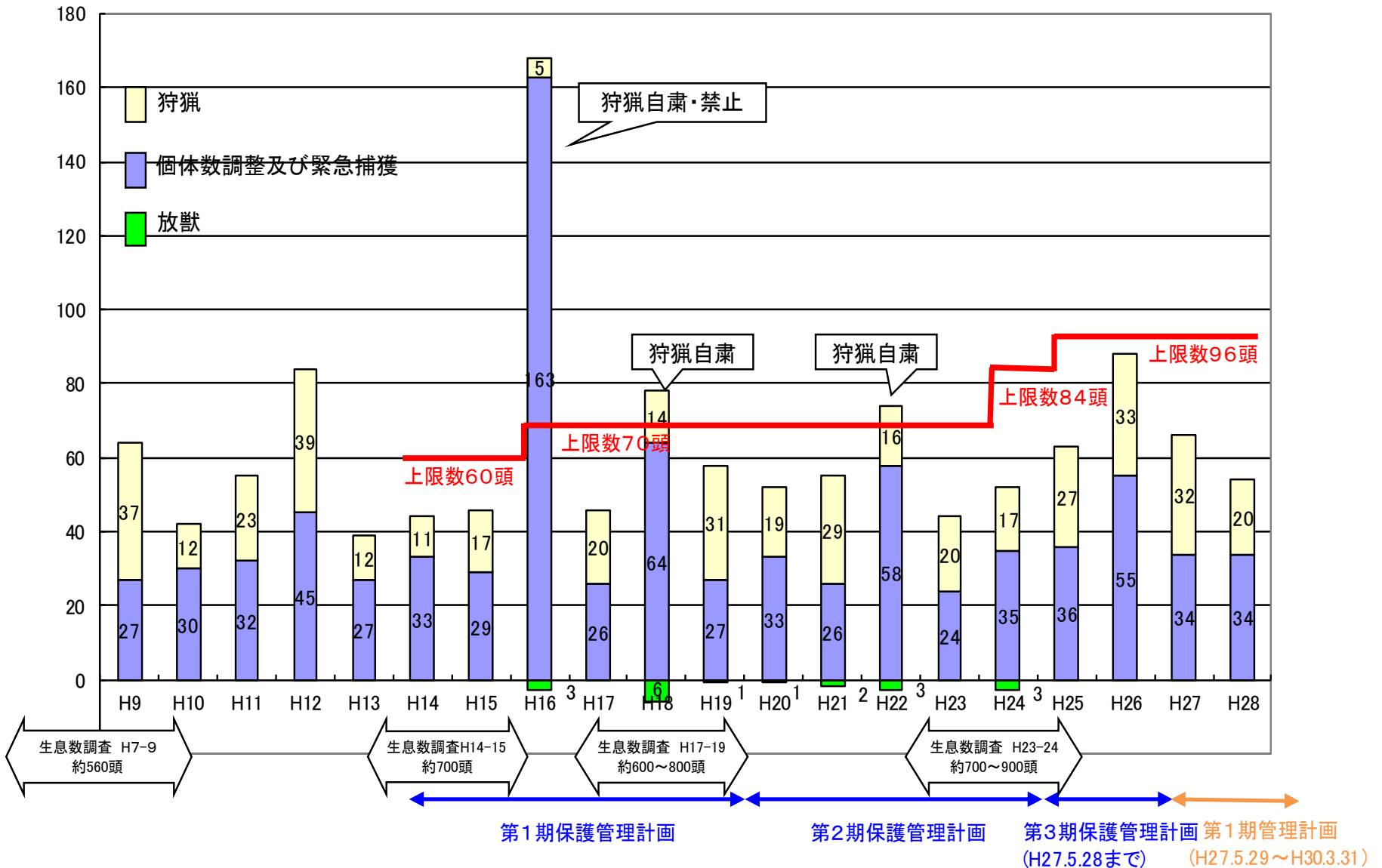
区分	目撃件数	人身事故件数	捕獲数
平成16年	1006※ (51)	5 (1)	171 (9)
平成17年	57 (35)	0 (0)	46 (1)
平成18年	333 (32)	4 (0)	84 (2)
平成19年	110 (51)	1 (0)	58 (4)
平成20年	128 (64)	0 (0)	52 (5)
平成21年	58 (23)	1 (0)	55 (4)
平成22年	353 (35)	5 (0)	74 (3)
平成23年	60 (25)	0 (0)	44 (6)
平成24年	126 (37)	4 (1)	52 (3)
平成25年	147 (94)	1 (1)	63 (7)
平成26年	256 (65)	5 (2)	88 (9)
平成27年	195 (64)	2 (1)	66 (11)
平成28年	246 (135)	2 (1)	54 (7)
平成29年	99	1	17

(注) 目撃件数: 1月から12月の年間件数
 人身事故件数: 1月から12月の年間件数
 捕獲数: 5月から翌年4月の年間件数 ()内は、6月同時期の件数
 ※ H16は大量出没があったことから事後に緊急調査を実施。

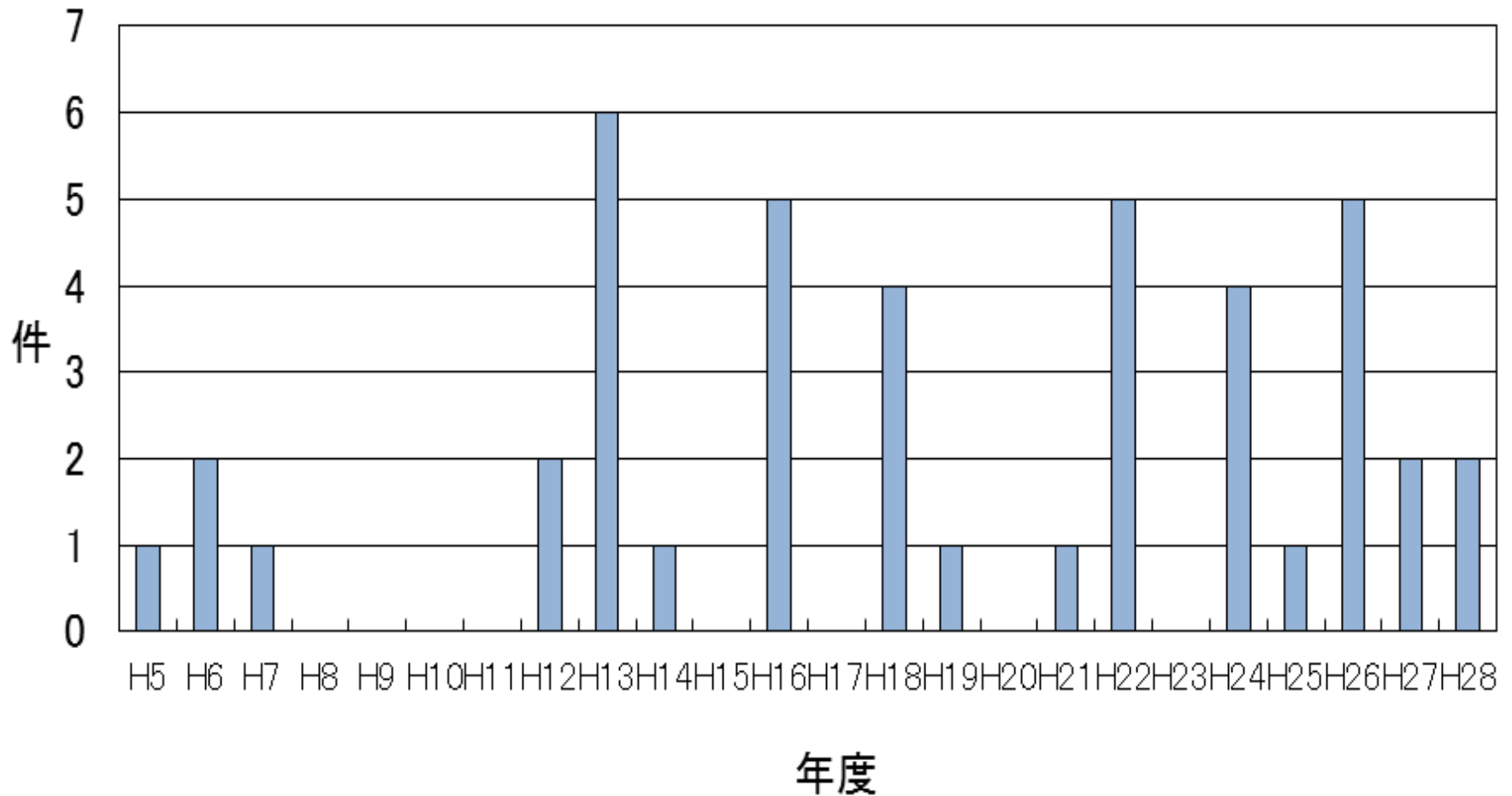
平成29年クマ目撃情報（1月～6月）



ツキノワグマの捕獲数の推移



ツキノワグマによる人身被害件数



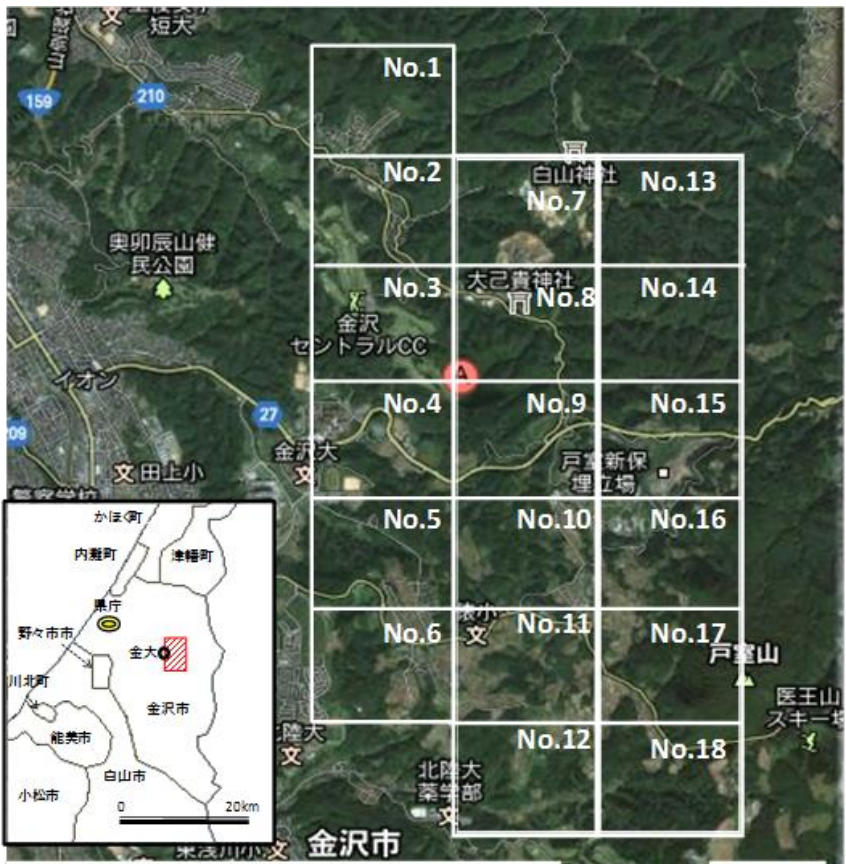
2 生息状況調査

①生息状況調査

奥山や里山地域における生息状況調査

②里山クマ調査

里山での定着が懸念されることから、県内数カ所で自動撮影カメラによるモニタリング調査



＜調査メッシュごとのクマ撮影回数＞

H24	H25	H26	H27	H28
5	8	11	23	13
2 0 3	1 0 12	6 26 15	1 0 8	3 0 9
8 3 3	3 1 0	8 9 7	13 6 5	9 11 1
10 0 0	8 3 0	19 12 8	4 11 5	1 16 11
4 0 2	7 0 3	18 57 7	3 11 3	10 8 3
6 2 22	7 2 25	15 15 40	3 7 11	20 1 9
12 6	4 2	18 6	29 15	10 4
計88回	計86回	計297回	計158回	計139回

: 10回以上
 : 20回以上
 : 30回以上

10/19/2016 02:47:48
10 Sec

A dark, rounded animal, possibly a piglet, is standing on a dirt path at night. The animal is positioned in the center of the frame, facing away from the camera. The ground is uneven and appears to be a mix of dirt and sparse vegetation. The overall scene is dimly lit, with the animal's form silhouetted against the slightly brighter ground.

3 人身被害対策

(1) 出沒対応(石川県ツキノワグマ出沒対応マニュアル)

① 目撃情報への対応

ア 情報共有

【通常の日撃情報】

市町から情報収集(市町→農林総合事務所→自然環境課)

【人身被害や市街地での目撃情報】

緊急性が高いため被害発生後又は目撃後速やかに情報収集

イ 具体的な対応

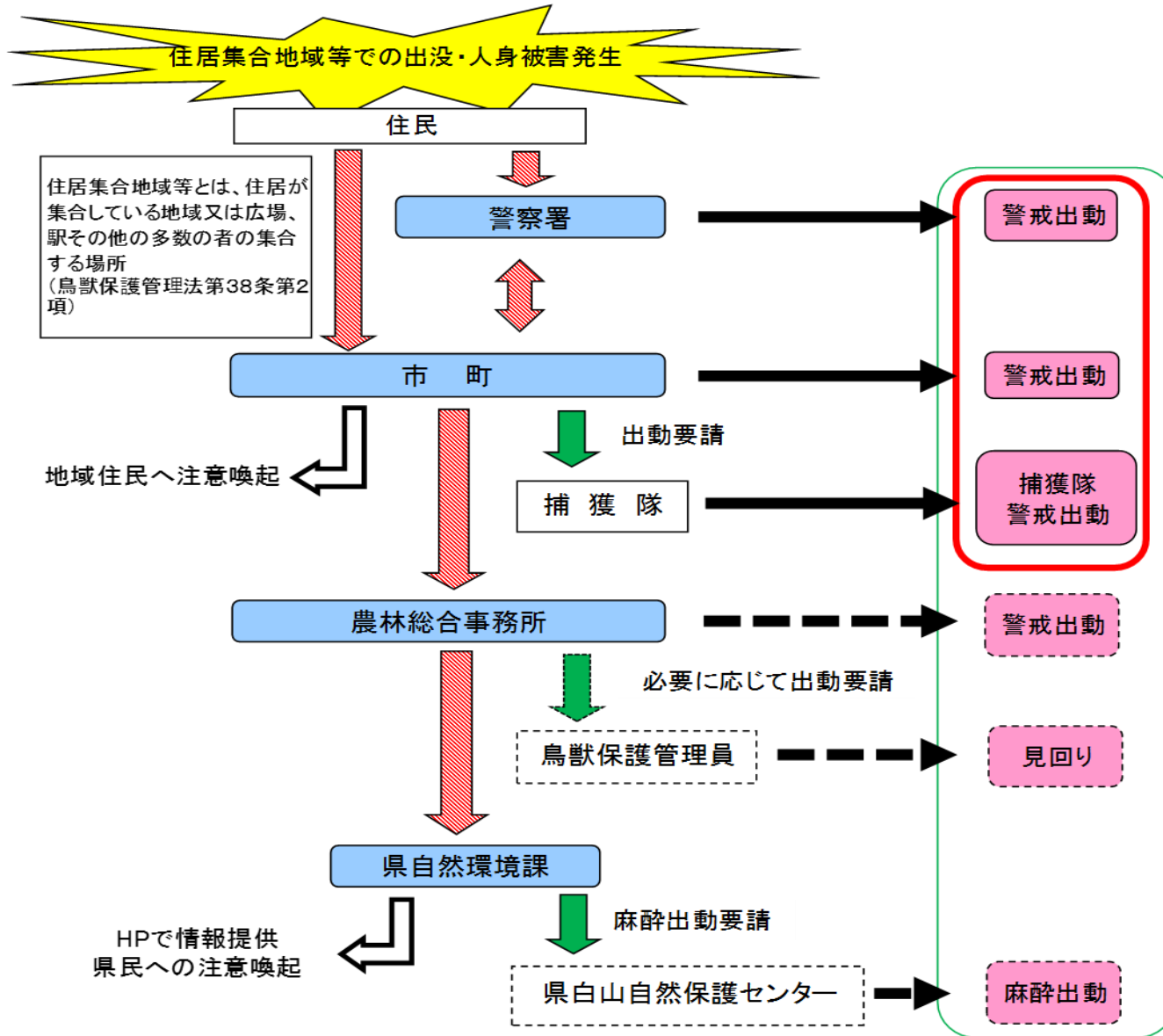
【市 町】

捕獲隊や警察と連携し、現場周辺の痕跡確認やパトロール、目撃場所付近の集落や学校などへの注意喚起、注意看板の設置、捕獲檻の設置

【 県 】

- ・市町からの目撃情報を受け、ホームページに情報を掲載し、県民に広く注意喚起を行っているほか、
- ・市町から麻酔銃の出動要請があった場合は、白山自然保護センターが麻酔銃を持って出動し、市町の捕獲を支援

<出没時の連絡体制>



② 秋の大量出沒への対応

8月までのクマの出沒状況や人身被害の発生状況、クマの餌となるブナやミズナラなど木の実のなり具合等の状況などから判断

大量出沒の兆候がある場合 → 注意情報発令

大量出沒の兆候が明白な場合 → 警戒情報発令

<過去の豊凶結果と注意情報等の発令状況>

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
ブナ	▲-	◎+	▲-	▲	▲	◎	▲
ミズナラ	○	◎	◎	○+	○-	○	◎
コナラ	○	◎	◎	○-	○+	○	◎
発令状況	注意情報 警戒情報	—	注意情報	注意情報	注意情報	—	注意情報
出沒状況	353	60	126	147	256	195	246

凡 例

大豊作 ◎+ 豊 作 ◎ 並~豊 ○+ 並 作 ○
並~凶 ○- 凶 作 ▲ 凶~大凶 ▲- 大凶作 ×

(2) 普及啓発

① 里山クマ対策フォーラムの開催

人身被害に遭わない、また遭った際の対処等を普及啓発するフォーラム開催。

② クマ対策啓発セミナーの開催

クマ目撃情報が多い地域の住民向けに、人身被害に遭わない、また遭った際の対処等を普及啓発するセミナーの開催(県内3箇所)

③ クマによる被害にあわないためのリーフレットの配布

(3) 捕獲従事者の育成

① 捕獲技術向上研修

管理計画の目標達成のための有効な捕獲方法等の研修